

2014-15年度  
財団専門家グループ

委員長・副委員長

Philip J. Silvers (フィリップ J. シルバース)  
(米国)

Francis F. Tusubira (フランシス F. ツスピラ)  
(ウガンダ)

基本的教育と識字率向上

Maureen V. Duncan (モーリーン V. ダンカン)  
(米国)

Ian W. Geddes (イアン W. ゲデス) (スコットランド)

Jones Y. Kyazze (ジョーンズ Y. クヤジ) (ウガンダ)

母子の健康

Himansu K. Basu (ヒマンス K. パス) (英国)

Catherine Noyer-Riveau (キャサリン・ノイヤー・リボー) (フランス)

Deepak M. Purohit (ディーパク M. プロヒト)  
(インド)

疾病予防と治療

Rajaratnam T. Arasu (ラジャラトナム T. アラス) (マレーシア)

Estela Emeric (エステラ・エメリク) (アルゼンチン)

Frederick W. Hahn Jr. (フレデリック W. ハーン・ジュニア) (米国)

経済と地域社会の発展

Deniel Banks (ダニエル・バンクス) (米国)

Chalermchat Chun-In (チャラームチャット・チュンイン) (タイ)

Jean-Claude Piers de Raveschoot (ジャン・クロード・ピエール・ド・ラベスクート) (フランス)

平和と紛争解決/紛争予防

David I. Clifton Jr. (デービッド I. クリフトン・ジュニア) (米国)

Hugh Munro (ヒュー・ムンロ) (スコットランド)

Mark Zober (マーク・ゾバー) (イスラエル)

水と衛生

Kenneth W. Grabeau (ケネス W. グラボー) (米国)

John Kevan (ジョン・ケバン) (オーストラリア)

Vishwas Sahasrabhojane (ビシュワス・サハスラボジョジャー) (インド)

財団専門家グループの皆さま、ロータリーリーダーの皆さまへ

フィル・シルバース (Phil Silvers)



財団専門家グループメンバー各位  
ロータリーシニアリーダー各位

平素より、スキルの提供を通じてロータリー財団をご支援いただき、誠にありがとうございます。

春から初夏にかけて、世界のあちこちで、専門家グループメンバーのスキルを必要とするプロジェクトが増えてまいりました。

この度は、以下2点についてお知らせいたします。

「その他の業務」の報告について: 事前現地視察、中間視察、事後現地視察、書類および専門的審査、各種監査、プログラム評価など、皆さまには専門家グループメンバーとして、すでに定期的に報告していただいております。

ジョン・ケニー管理委員長はこれらに加え、財団専門家としての正式業務以外においても、グループのメンバーが財団に貢献していることを、ロータリー世界に知ってほしいと望んでおられます。

つきましては近日中に、専門家グループメンバーの業務に関するアンケート調査をお送りしますので、皆さまのご協力をお願いいたします。この調査は、補助金申請者から要請されて行う業務とそうでないものの両方が対象となり、今後、毎年実施される予定です。

財団専門家グループ研修会について: ケニアのモンバサ(9月)とトルコのアンタリヤの両ロータリー研究会(11月)に向け、専門家グループのメンバーとメンバー登録に関心があるロータリアンのための研修会を計画中です。詳細は後日お知らせします。登録情報は、各研究会のウェブサイトに掲載されます。

モンバサとアンタリヤの研修会で、多くのメンバーのご参加をお待ちしています。

2014-17年度財団専門家グループ委員長  
フィル・シルバース

専門家グループのウェブサイトもご利用ください。

ロータリーのウェブサイト ([www.rotary.org](http://www.rotary.org)) の My ROTARY に登録している専門家グループのメンバーは、My ROTARY にログインし、プロフィールのページから「ワークグループ」をクリックしてください。このページでは、各種資料、アンケートのツール、ニュースや情報をご覧いただけます。また、フォーラムへの参加、研修資料のダウンロード、「Tech Talk」アーカイブ、フォトギャラリーなど、さまざまな機能をご利用いただけます。

## 現地視察での透明性について

ロータリー財団専門家グループが担う役割は、非常に重要なものです。専門家グループは、プロジェクトを計画・実施しているロータリアンに専門知識とスキルを提供するのに加え、管理委員会をサポートし、財団資金が適切に管理されるよう見届けます。また、アドバイザーとして、専門知識とスキルを活用する機会を提供します。

主要な任務の一つである現地視察では、補助金の提唱者に継続的なフィードバックを提供し、率直な情報提供を促すことが重要となります。財団に提出していただく評価書の内容は、プロジェクト関係者に直接開示されませんが、現地訪問中は、率直に感想を述べるとともに、プロジェクトを成功に導くコツを紹介し、アドバイスを提供してください。

充実し、透明性のある現地視察とするため、視察完了までに、プロジェクトの利害関係者にフィードバック提供するためのミーティングを開いてください。このミーティングでは、調査結果の概要、プロジェクトの長所と改善点や課題、今後の予定について伝えます。フィードバックミーティング用の手引きとワークシートが用意されていますので、ご活用ください。

また評価書には必ず、プロジェクトに関する推奨事項を記入してください。財団職員が読み、場合によってはプロジェクト提唱者と連絡を取ります。専門家グループのメンバーは、補助金の要件が満たされるようアドバイスや提案を行い、補助金の成功をサポートすることが奨励されています。

## 専門家グループの研修

2015年ロータリー国際大会の開催直前となる6月4日、サンパウロで専門家グループの研修が行われ、全グループメンバーの出席が奨励されています。また、専門家グループやロータリー財団の資金管理に関心があるロータリー会員の出席も歓迎いたします。詳細は明らかになり次第、お知らせいたします。



---専門家グループの研修---

6月4日(木)

## 最近の現地視察



グアテマラでのプロジェクト評価中に、地元の生徒たちと会談するモリン・ダンカンさん(写真右手前)。このプロジェクトは、基本的教育と識字を推進するものです。



ウガンダでの水と衛生プロジェクトを訪問中、地元の地域社会共同隊のメンバーと話し合う、ヤン・レントヴァーさん。



水と衛生プロジェクトで設置された水道を利用する、カンボジアの子どもたち(プロジェクト評価中のチャレルムチャット・チュンインさんが撮影)。

## 私たち自身の言葉で

## ナイジェリアでの母子健康プロジェクト

Mark Townsend, ポートランド、イングランドの島&ロイヤルマナーのロータリー・クラブ（1200地区）



留意点:本報告では、情報保護の観点から、プロジェクト実施地名や提唱組織名などに、仮名が使用されていますのでご了承ください。

私は、母子健康プロジェクトの中間視察のため、ナイジェリア南東部にある人口200万人の都市、エヌグに赴きました。

ナイジェリアの産婦死亡率は、世界でワースト10に入り、毎年この国で4万人の女性が出産中に命を落としています。これは4時間ごとに一人亡くなっていることになります。

トランスエクル・ロータリークラブは、過去にナイジェリア北部のカノ州とカドゥナ州でプロジェクトを行い、産婦死亡率を60パーセント減少させることに成功しており、今度は新たにエヌグで2年プロジェクトを開始しました。

このクラブは、連帯感が強く活気あるクラブです。会員21人と小規模ではありますが、会員は積極的で、地域社会の改善に熱意をもっていました。強い情熱を込めてたゆまず目標達成に取り組み、私をととも温かく迎え入れてくれ、いろいろなプロジェクト活動の場に案内してくれました。

このプロジェクトは、母子の健康を改善するため、3種類の「遅れ」を解消す

ることを目指しています。

1. この地域の女性たちは、不十分な教育と家族計画に対する認識不足から、支援を受けるのが遅れがちになり、また伝統を重んずる助産士の存在がこの問題をさらに複雑化しています。産婦の死亡を防ぐには、出産前の十分なケアと適時にサポートを受ける必要性の認識が不可欠で、そのために現在、幅広い教育プログラムが展開されています。支援チーム、医療関係者、ロータリアンが参加し、地域リーダーや宗教指導者の支持も受けました。学校へも出向いて、大々的な教育キャンペーンが行われ、助産師にも啓蒙資料が配布されています。

2. 道路事情の悪さと交通機関の不備により、ケアが受けられる場所に出向く上で遅れが生じます。この問題の対策は、今検討されています。

3. 病院の設備とスタッフの研修が不十分なため、検診や治療を受けるのが遅れてしまいます。そのためこのプロジェクトでは、手術台や保育器などの機器を寄贈したほか、すばやく安全な出産ができるよう医師と助産師に研修を提供しました。

私は、プロジェクト対象の5病院を訪問しました。病院の事情はさまざまです。建物は立派でも、資金不足で設備や人員が不十分な大学病院もあれば、ほとんど自家発電に頼り、設備の乏しい、粗末な建物の病院もありました。水道がないため、給水車を使っている病院さえあります。

ある病院では、プロジェクトを通じた保育器の寄贈をきっかけとして乳児のための専門ユニットができ、未熟児をほかの病

院に搬送させる必要もなくなったそうです。うれしいことです。

また、そのほかに寄贈された機器のおかげで、別の手術が行われていても、同じ手術室で緊急帝王切開ができるようになりました。

この結果、産婦死亡率はすでに減少し始めています。

このプロジェクトはこれからも、多くの命を救い、身体障害を軽減し、たくさんの人びとの生活を向上させることでしよう。





ピーター・ウェルチさんが3-Hプロジェクトの事後現地視察のために訪問した村

## 私たち自身の言葉で

### 初めてのプロジェクト視察

Peter Welch, トーキー、イングランド（1170地区）のロータリー・クラブ

私が財団専門家グループの一員となったのは、プロとして20年間携わったプロジェクトモニタリングと評価の仕事から退いた後のことでした。財団専門家としての最初の任務は、タンザニアでの3-H（保健、飢餓追放および人間性尊重）プロジェクト後の現地視察でした。片親または両親をHIV／エイズで失い、厳しい環境に置かれた子供たちのためのプロジェクトです。

ロータリアンやプロジェクトの受益者がとても親身に対応してくれ、プロジェクトの重要な意義を確認することができ、とても有意義な視察となりました。

プロジェクト提唱者の工夫にも感心しました。孤児院を建てても、地域の力だけでそれを長期的に運営することは難しいと考え、子どもたちの養子縁組を手配したのです。しかし、貧しい親たちが子どもたちを世話することは困難なため、両親の収入を増やすことにも力を入れていました。その方法として、トウモロコシや乳製品生産の協同組合や子どもたちにケアを提供する施設を設立し、8つの村でアボカドの植樹に取り組みました。

2012年に完了したそのプロジェクトは、2014年に私が視察に訪れた時も、大きな成果を上げていました。それまでに、614世帯が孤児たちの世話をしており、孤児1,043人が協同世帯で生活していました。小学校には制服1,800着と机220脚、中学と高校には220脚のいすが寄贈され、合計680人の生徒が学校に通えるようになっていました。また、教室が一つ増築され、保健室もできていて、その運営費もプロジェクトによる資金で賄われていました。さらに、太陽光を利用した照明や温水器、雨水の貯水設備も完備されていました。

子どもたちの栄養状態も向上し、欠席率が下がっただけでなく、家族が明日の食べ物の心配をする必要もなくなっていました。

訪問中、特に感銘したのは、ある女性の活躍です。一時は、将来が最も心配される孤児だったその女性は、今では自立し、家族全員が安定した食事をとれるようになり、土を塗り固めただけの小屋から、電気もテレビもあるレンガ造りに家に移り住んでいたのです。しかも、いくつかの事業に携わり、ほかの町にも進出していました。

ロータリープロジェクトによる協同組合が貢献している例はほかにも見られました。ほかのある女性は、プロジェクトで寄贈された1頭の乳牛を元手に、1日の牛乳出荷量を1〜2リットルから40リットルまでに増やし、今は事業化を検討しています。私が訪問した5つの村では、穀物や乳産物の生産高が2〜3倍になった例もあると聞きました。2012年のプロジェクト完了後も、これらの協同組合は人びとの暮らしに大きく貢献していたのです。

持続的に高い成果を上げているこのプロジェクトは、ロータリアンが誇りとすべきプロジェクトです。

**留意点:** 本報告では、情報保護の観点から、プロジェクト実施地名や提唱組織名などに、仮名が使用されていますのでご了承ください。

### 専門家が必要とされる分野・地域

ロータリアンの持続可能・測定可能な補助金活動を支える専門家グループの取り組みは、ロータリー補助金の活動とともに進化します。そのため財団では、専門家グループメンバーとして次の領域でご協力いただける、さらに多くの有志ロータリアンを探しています。

- 地域社会のニーズ調査
- モニタリングと評価
- 持続可能なプロジェクトの立案  
また、次の分野でも新メンバーを募集しています。
- 水と衛生分野の専門家
- 保健分野の専門家
- スペイン語を話せる北米・中米地域の方
- 6つの重点分野のいずれかに該当する専門知識をお持ちで、アフリカ、東南アジア、中米にお住まいの方  
これらの募集領域・分野に該当する方をご存知である場合は、ぜひEメール ([cadre@rotary.org](mailto:cadre@rotary.org)) でご連絡いただけますようお願い申し上げます。

### 資金管理担当職員

メレディス・バールー  
マネージャー

[meredith.burlew@rotary.org](mailto:meredith.burlew@rotary.org)

クリスチャン・ペペラ  
シニア・コーディネーター、専門家グループ  
[christian.pepera@rotary.org](mailto:christian.pepera@rotary.org)

キャサリン・シューマー  
監査、モニタリング・地区支援スペシャリスト  
[catherine.schumer@rotary.org](mailto:catherine.schumer@rotary.org)

トーマス・ウッズ  
監査とモニタリングスペシャリスト  
[thomas.woods@rotary.org](mailto:thomas.woods@rotary.org)

ラジャシュ・アナン  
会計監査シニア・コーディネーター  
南アジア事務局、インド  
[rajesh.anand@rotary.org](mailto:rajesh.anand@rotary.org)